

「免疫チェックポイント阻害薬による間質性肺炎を発症した非小細胞肺癌の予後についての検討」へご協力をお願い

— 2015 年 4 月～2024 年 12 月の間に、当院呼吸器内科で免疫チェックポイント阻害薬治療を受けた非小細胞肺癌の患者様へ —

研究責任者 岩国医療センター 呼吸器内科 田村朋季

1. 研究の背景・目的

免疫チェックポイント阻害薬は非小細胞肺癌の治療において、標準的に用いられている治療です。一方で、重篤な副作用として間質性肺炎があり、その発症率は臨床試験においては 5%程度とされています。死亡に至るような重篤な例は少ないですが、間質性肺炎を一度発症した患者さんが、再発してしまったときに、その後の治療選択肢は間質性肺炎を発症しなかった患者さんと比べ、制限を受けることが多いです。この研究の目的は免疫チェックポイント阻害薬によって間質性肺炎を発症した患者さんと、そうでない患者さんで、その後の治療やその副作用に差が無いかどうかを調べることで、今後の治療選択肢をより適切にしていけることです。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

2015 年 1 月～2024 年 12 月までに当院の呼吸器内科で免疫チェックポイント阻害薬治療を受けた非小細胞肺癌の患者様が対象となります。

2) 研究期間

2025 年 6 月開催倫理委員会承認後～2026 年 12 月

3) 研究方法

研究者が既存のカルテ情報からの情報を取得し、解析を行います。

4) 使用する情報

この研究に使用する情報として、カルテから以下の情報を抽出し使用させていただきますが、あなたの個人情報情報は削除し、匿名化して、個人情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。抽出項目は性別、年齢、併存症、肺癌に対する治療内容、肺癌に対する治療の副作用、治療効果などの情報です。

5) 情報の保存・二次利用

この研究に使用した情報は、匿名化した上で、研究終了について報告後 5 年間当院に保存し、新たな医学研究に使用させていただきます。また、保存した情報を用いて新たな研究を行う際は、岩国医療センターのホームページに情報を開示してお知らせします。

カルテデータから抽出し評価する観察研究であり、患者さんの個人情報を抹消した状態で解析します。従って、患者さんの個人情報外部に漏れる心配はありません。

6) お問い合わせ先

この研究にご質問等がありましたら、下記の問合せ先にお尋ね下さい。また、情報をこの研究に使用されることについて患者さんもしくは患者さんの代理の方にご了承いただけない場合には研究対象から除外しますので、下記連絡先までお申し出ください。その場合でも、患者さんに不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・連絡先>

研究責任者：岩国医療センター呼吸器内科 医師 田村 朋季

〒740-8510 山口県岩国市愛宕町1丁目1番1号

TEL 0827-34-1000（代表）